

しょうがくせい
— 小学生もサポーターに —

🌈 こどももおとなも 🌸 みんなで作ろう 🌿 やさしいまち 🌸
地域のみんなで、支え合い 🌸 田原はひとつ



認知症は
治らない？



周りの人が優しくすると、気持ちが穏やかになります。

↑ 新たなサポーターになった児童一人ひとりに、ロバ隊長（「認知症サポーターキャラバン」のマスコット）が配布されました。

話しかける時のやさしいところがけ

♥ はっきり
♥ やさしく
♥ ゆっくり みじかく
♥ みつめて

📄 授業のスライドより



↑ 大事なことを忘れないようにメモする児童

↑ はやゆみ（はっきり、やさしく、ゆっくりみじかく、みつめて）認知症の人に話しかける時の心掛けを教わりました。

↑ たわら地域包括支援センターの職員は「田原はひとつ。みなさんも今日からできることを探してやってみてください。」と話されました。

しょうがくせい にんちしょう りかい ちいき ささ あ あたた
小学生も認知症について理解し、地域のみんなで支え合い、温かみ
のあるまちをつくってもらいたいとの願いで、11月19日、田原小学校
で認知症について学ぶ授業が行われました。授業では認知症になっ
た人の気持ち、病気の原因や症状、また、認知症になっても周りの人が
優しく接することで気持ちが穏やかになることを学びました。子どもたち
は熱心にメモを取りながら話を聞いたり、クイズに答えたりしていました。
授業を受けた子どもは新たに認知症サポーター※に認定されました。

※認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする人
(厚生労働省 HP より)